

警視庁の自販機犯罪撲滅に協力  
「犯罪防止ステッカー」の作成

清涼飲料自販機協議会は、これまでも警察署等との連携で「自販機犯罪通報システム」の導入や「自販機堅牢化基準」の普及をするなどして、自販機犯罪激減に前向きに対応しています。

今回、警視庁高尾警察署管内で昨年4月、高尾山において自販機犯罪が発生したことを受け、警視庁は、今後の自販機犯罪を減少させていくこと等を目的として、「自販機犯罪防止ステッカー」の作成に、清涼飲料自販機協議会として協力させていただきました。

●「自販機防犯キャンペーン」の実施

5月1日(木)警視庁高尾警察署は高尾山において「自販機防犯キャンペーン」の実施をアピールしました。当日は、竹下高尾警察署長から「昨年の4月この場所で、自販機犯罪があり、後日、少年を検挙したところ。自販機犯罪は模倣性が強く非常に悪質な犯罪です。そこで今回防犯ステッカーを作成し自販機防犯キャンペーンを実施しました。犯罪の無い社会づくりをするためには、次代を担う少年達の形成・育成がとても大切ですので皆様方のご協力をお願いします。」というご挨拶があり、警視庁と飲料業界並びに地域の方々等が一丸となって自販機犯罪の撲滅に取り組んでいることを強くアピールしました。



ステッカー貼付式では一斉にステッカーを貼付。これを皮切りに、屋外に設置の自動販売機(八王子市、府中市、千代田区)にステッカー貼付活動(貼付期間は最長1年)がスタートします。今回の貼付活動による抑止効果で、より一層、犯罪が減少されていくことになると思います!! また、当日会場では、登山客等に自販機防犯キャンペーンのポケットティッシュ等が配られ、更に自販機犯罪に対し強化していることをアピールしました。

《高尾山での記者発表の様子》



竹下巧高尾警察署長のご挨拶



藤間義明少年事件課長のご挨拶



一斉にステッカーを貼付しました



登山客の方に  
ティッシュ等の配布



自販機協議会代表のご挨拶

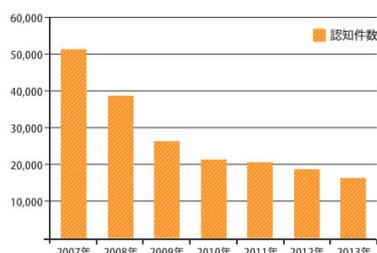


高尾電鉄 大野社長のご挨拶



ビーボ君と  
むっちゃん  
も応援!

警察の「警邏」や、業界による「自販機堅牢化基準」の普及、「自販機犯罪通報システム」の導入等により、自販機犯罪は急速に減少しています。



認知件数2007年から6年間で約7割減少!!  
ピーク時の1999年の約22万台から  
みると約1/13以下に減少しました!